

新しい第二中学校

僕は昨年12月の生徒会役員選挙で、生徒会長に選出されました。僕の公約は「生徒自身の力でやるべきことができる学校を創る」ことです。

昨年、中之町町内会との合同防災訓練などで学んだ「釜石の奇跡」を、僕はすごいと思いました。子ども自身が、状況を判断して津波から避難することで、自分の命や家族の命を守ることができたのです。

僕は、この第二中学校も、一人の命も落とさずに避難できる学校にしたいです。災害は起こってはいけませんが、もし何かが起こったら、自分たちで動けるためには、ふだんの生活が大切です。また、生徒会執行部ががんばるだけでなく、多くの生徒の協力が必要です。

まず、「やるべきこと」に僕が考えるのは、全校朝会や学年集会の集合と話を聴く姿勢です。集合時間が早いと時間が有効に使えます。それに、正しい姿勢で話を聴くと、話している人も気持ちもいいし、話の内容がよくわかります。

次にやることは、学校、地域を大切にすることです。そのためには、毎日の清掃活動と毎年取り組んでいる「地域清掃活動」の充実です。

目的を考え、状況を判断し、行動できる集団を目指して、日々取り組んでいきます。これからの第二中学校にぜひ、期待してください。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第13回 —

海と山の輝き、みんなで輝くために

私たちは、11月に今年度2回目となる「小・中合同クリーン活動」を行いました。須波駅、公園、通学路に加え、海浜公園の清掃をしました。参加してくださる地域の方も多く、今までにない協同活動ができたと思います。

クリーン活動を通して地域に貢献することが大きな目的ですが、私は、自分の住んでいる地域の良さに改めて気づくことができました。須波は、美しい海と山に囲まれた、穏やかでとても住みやすい町です。筆影山からの眺めは絶景ですし、夏には大勢の人が海浜公園に泳ぎに来ます。

私は海浜公園の清掃をしたのですが、思った以上にタバコの吸い殻や空き缶が多く落ちていました。その一つ一つのゴミは誰かが捨てたものなのだと、そんな当たり前のことにショックを受け、このままではいけないと思いました。須波の海や山の輝きを保つために行動したいと感じました。そのように保たれた環境の中でこそ、私たちも四中も輝けるのではないかと思うのです。

「ゴミを捨てない」というルール、「来た時よりも美しく」というマナーが守られるのが理想ですが、現実には、町をきれいにするという意識の低い人たちがいます。意識の低い人が多くなると、町は汚れていく一方です。だから、意識の高い人の方が多くなればいいのだと、私は考えます。そのためには、クリーン活動をさらに充実させ、続けていくべきです。小さな子どもからお年寄りまでが参加し、地域ぐるみで活動していけるといいと思います。

私を感じた、活動後の達成感と喜びを他の人にも実感してほしいのです。自分の住んでいる町を自分たちの手できれいにすることで、町への愛着もより深くなるはずです。

